

令和8年度（2026年度）
事業計画書

Ⅰ. 申請者の概要

団体名	大阪府商工会連合会
代表者職・氏名	会長 上村 一彦
所在地	〒540-0029 大阪市中央区本町橋2-5 マイドームおおさか6階
担当者職・氏名	事務局長 元木 一典
連絡先電話番号	06-6947-4340
連絡先メールアドレス	shokoren@osaka-sci.or.jp

事業名		成長志向事業者・クリエイター共創支援事業		事業番号	1
事業の概要	事業概要	大阪・関西万博に際して見られたクリエイティブ市場の活況を踏まえ、自社商品およびサービスの付加価値向上、ならびに商品を通じた販売力促進向上を目指す事業者に対し、プロダクトデザインやサービス広報デザイン等におけるクリエイターとのミーティング機会を提供し、双方の事業の成長・拡大を図る。			
	事業の目的 （現状や課題をどのような状態にしたいか） 企業ニーズ （内容・把握方法等）	自社商品の付加価値向上や販売力向上に伸び悩みを抱えている事業者は一定数存在する。こうした事業者に対し、事業者がクリエイターとの共創を通じて商品やサービスの付加価値向上、さらにはそれらを通じた販売力向上に資するとともに、クリエイターの地域での活躍の場を増やすことで、地域経済の活性化を図ることを目的とする。			
	支援する対象 （業種・事業所数等）	- 商品やサービスに付加価値を付けたいと考えている事業者 - 創業直後のブランディングや販売力向上に伸び悩みを抱えている事業者 - 商工会地域での活躍の場を増やしたいクリエイター			
これまでの取組状況 ※地域活性化事業からの振り替えて実施する事業の場合に記載すること。					
具体的な実施内容 ※いつ・どこで・何を・どのようにするのかを時系列順に明確に記載すること。 ※成果指標の実現に向けた取組が分かるように記載すること。		①クリエイターとの共創に向けたセミナー 50者 各商工会と課題共有をした上で、自社商品の付加価値向上や販売力向上に伸び悩みを抱えている中小企業・小規模事業者を対象にしたセミナーを実施する。 なお、各商工会の地理的条件に左右されることなく広く参加機会を確保するため、配信形式での実施を検討している。 ②事業者とクリエイターとのミーティング 60者 中小企業・小規模事業者とクリエイターを対象に、ミーティングを開催する。 事業者より自社商品のプレゼンや販売戦略における悩みごとを、クリエイターよりデザインや受注に関する考えなどを忌憚なく意見交換してもらい、双方のニーズとシーズが近づく機会を提供する。 ③ハンズオン支援 5者 ミーティングにより課題が具体化した事業者を対象に、ハンズオン支援を行う。 展示会などへの出店等に際しての商品の魅力向上策ならびに販売促進力強化に通ずる支援を、事業者対象地域の商工会と情報共有しながら行う。			
事業分野		クリエイター活用促進			
主な事業の目標	総支援対象企業数	設定根拠及び募集方法⇒	商品やサービスに付加価値を付けたいと考えている事業者、創業直後のブランディングや販売力向上に伸び悩みを抱えている事業者を対象とする。 連合会・各商工会等、他連携支援機関におけるチラシ配付・HP掲載を行い、加えてメールマガジン、セミナー告知ウェブサイト等にて募集する。 クリエイターに対しては、メビックを通じて周知を行い、募集する。		
		115 社			
	成果指標	代表指標	異業種とのマッチングによりビジネスが拡大した事業者数	数値目標	10 者
	その他目標値	目標値の内容⇒			
社					

事業の運営経費 算定基準 (行が足りない場合は、⇒の行に挿入)	⇒	積算単価		支援企業数		係数		補助対象事業費	
		20,200	円 ×	50	社 ×	1.00	=	1,010,000	円
		40,400	円 ×	60	社 ×	1.00	=	2,424,000	円
		101,000	円 ×	5	社 ×	1.00	=	505,000	円
			円 ×		社 ×		=		円
			円 ×		社 ×		=		円
	計		115	社	(小計)		3,939,000		
個別支援に要する経費 算定基準 (行が足りない場合は、⇒の行に挿入)	⇒		円 ×		社 ×		=		円
			円 ×		社 ×		=		円
			円 ×		社 ×		=		円
			円 ×		社 ×		=		円
			円 ×		社 ×		=		円
	計			社	(小計)			円	
補助対象事業費 計		計						3,939,000	円
算 出 額	受益者負担	円		受益者負担額の積算					
	補助対象事業費		補助率				(受益者負担)		
	3,939,000	円 ×	1.00	=	3,939,000	円	(円)		
補助金の団体配分 (「代」欄には、中核団体またはヒ アリングで説明する代表団体に○)	代	商工会・会議所名		配分額		支援企業数	役割 (配分の考え方)		
	○	大阪府商工会連合会		3,939,000 円		115			
				円					
				円					

別紙：積算根拠となる支援対象企業数と支援対象企業の変化について

事業の目標①	支援対象企業数の合計	設定根拠及び募集方法⇒		商品やサービスに付加価値を付けたいと考えている事業者、創業直後のブランディングや販売力向上に伸び悩みを抱えている事業者を対象とする。事業者に対しては、連合会・各商工会等、他連携支援機関におけるチラシ配付・HP掲載を行い、加えてメールマガジン、セミナー告知ウェブサイト等にて募集する。			
		50 者					
	支援対象企業の変化	指標	クリエイターとの協業に向け理解を深めた企業の割合			数値目標	70 %
事業の目標②	支援対象企業数の合計	設定根拠及び募集方法⇒		上記1にて課題を把握した事業者やクリエイターとの共創を検討する事業者を対象とする。事業者に対しては、連合会・各商工会等、他連携支援機関におけるチラシ配付・HP掲載を行い、加えてメールマガジン、セミナー告知ウェブサイト等にて募集する。クリエイターに対しては、メビックを通じて周知を行い、募集する。			
		60 者					
	支援対象企業の変化	指標	事業者・クリエイター双方の課題および意向を認識し、マッチングに向けた理解を深めることができた者の割合			数値目標	70 %
事業の目標③	支援対象企業数の合計	設定根拠及び募集方法⇒		上記1・2を通じて課題が具体化した事業者等、より成長志向の強い者を支援する。			
		5 者					
	支援対象企業の変化	指標	ビジネスを拡大した事業者数			数値目標	5 者
事業の目標④	その他目標値	目標値の内容⇒					

事業名		商工会地域におけるスモールビジネス促進事業	事業番号	2
事業 の 概 要	事業概要	創業に関心を有しながらも、具体的な準備や行動に踏み出せていない、いわゆるゼロイチ層を対象に、商工会地域の地域資源や特性を生かした創業に特に着目し、商工会地域での創業を促進する。		
	事業の目的 (現状や課題をどのような 状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	本事業では、参加者同士の交流型セミナーおよびアイデア発表交流会を通じてビジネスアイデアの整理・具体化・ブラッシュアップを行い、さらに専門家・参加者からの講評という客観的な外部評価を得る機会を設けることで、参加者の創業に向けた意思決定および行動を促進する。その上で、創業計画書の作成および創業に向けた次のステップへの具体化を支援することで、創業準備段階から「事業主化」を促すとともに、商工会で実施される特定創業支援事業につなげ、地域経済の活性化を図る。		
	支援する対象 (業種・事業所数等)	副業・兼業を検討している者、身の丈創業を検討している者、週末起業を検討している者、ビジネスアイデアを具体化したい者、創業を検討している者、将来的に創業を視野に入れる学生、商工会地域での事業アイデアを有する者		
これまでの取組状況 ※地域活性化事業からの振り替えて実施する事業の場合に記載すること。				
具体的な実施内容 ※いつ・どこで・何を・どのようにするのかを時系列順に明確に記載すること。 ※成果指標の実現に向けた取組が分かるように記載すること。		① 創業アイデアブラッシュアップセミナー（北・中・南ブロック・市内の4か所）40者 各商工会地域および大阪市内にて自身のビジネスアイデアを具体化・整理するワークショップ型セミナーを実施する。 内容： ・創業者の体験談による創業イメージの具体化 ・創業に必要な知識の学びと起業意欲を醸成するワークショップ ・参加者同士のグループワークによるアイデア整理 ・各商工会が実施する創業支援事業の紹介 ②創業アイデアの整理・具体化個別支援 10者 連合会および専門家が伴走しながら創業アイデアの精度向上を図る。 ③創業アイデア発表会 20者 各ブロックの参加者を集め、地域の特性を交えた交流を通じて創業アイデア発表会を行い、専門家による助言、および参加者も含めた講評を得る。発表者以外の参加者についても、他者の発表を聴講することで新たな視点や気づきを得て、自身の事業アイデアの深化につなげる機会とする。 本発表会はビジネスプランコンテスト挑戦に向けた実践機会として位置付ける。 ④創業計画書の作成、および創業に向けた次のステップへの具体化個別支援 7者 専門家等からの講評・助言を反映し、事業内容をさらにブラッシュアップした上で創業計画書の作成および創業に向けた次のステップへの具体化を支援し、発表者の創業予定地域を所管する商工会と情報共有しながら、伴走支援を実施する。 事業内容のブラッシュアップ、それをもとにしたビジネスプランコンテストへのエントリーや、商工会が実施する特定創業支援事業への誘導、Webサイト開設などの事業運営の具体化など、創業に向けた次のステップに進むことを促す。		
事業分野		スモールビジネス支援		

主な事業の目標	総支援対象企業数	設定根拠及び募集方法⇒ 77 者	創業アイデアブラッシュアップセミナー参加者 40者、創業アイデアの整理・具体化個別支援 10者、創業アイデア発表会 20者、創業計画書の作成、および創業に向けた次のステップへの具体化個別支援 7者。連合会・各商工会、他連携支援機関によるチラシ配付およびHPにより募集する。また、従来の中小企業支援機関以外にもまちづくり等に興味がある人等が集まるコミュニティを形成している団体等とも連携し、創業について顕在化していないゼロイチ層にもアプローチし、募集を行う。								
	成果指標	代表指標	創業者数	数値目標			10 者				
	その他目標値	目標値の内容⇒									
	事業の運営経費 算定基準 （行が足りない場合は、⇒の行に挿入）	⇒	積算単価	円 ×	支援企業数	者 ×	係数	=	補助対象事業費	円	
			40,400	円 ×	40	者 ×	1.00	=	1,616,000	円	
			101,000	円 ×	10	者 ×	1.00	=	1,010,000	円	
			40,400	円 ×	20	者 ×	1.00	=	808,000	円	
			101,000	円 ×	7	者 ×	1.00	=	707,000	円	
				円 ×		社 ×		=		円	
		計			77 社	(小計)		4,141,000			
	個別支援に要する経費 算定基準 （行が足りない場合は、⇒の行に挿入）	⇒	積算単価	円 ×	支援企業数	社 ×	係数	=	補助対象事業費	円	
				円 ×		社 ×		=		円	
				円 ×		社 ×		=		円	
				円 ×		社 ×		=		円	
				円 ×		社 ×		=		円	
		計			社	(小計)			円		
	補助対象事業費 計		計							4,141,000	円
	算 出 額	受益者負担		円		受益者負担額の積算					
補助対象事業費		補助率				(受益者負担)					
4,141,000		円 ×	1.00	=	4,141,000	円	(円)				
補助金の団体配分 （「代」欄には、中核団体またはリンクで説明する代表団体に○）	代	商工会・会議所名		配分額		支援企業数	役割（配分の考え方）				
	○	大阪府商工会連合会		4,141,000 円		77					
				円							
				円							
				円							

別紙：積算根拠となる支援対象企業数と支援対象企業の変化について

事業の目標①	支援対象企業数の合計	設定根拠及び募集方法⇒	過去の商工会における創業セミナー参加者をもとに設定。連合会・各商工会、他連携支援機関によるチラシ配付およびHPにより募集する。また、従来の中小企業支援機関以外にもまちづくり等に興味がある人等が集まるコミュニティを形成している団体等とも連携し、創業について顕在化していないゼロイチ層にもアプローチし、募集を行う。			
		40 者				
	支援対象企業の変化	指標	創業アイデアがブラッシュアップされたと感じる参加者の割合	数値目標	70	%
事業の目標②	その他目標値	目標値の内容⇒				
	支援対象企業数の合計	設定根拠及び募集方法⇒	上記①に参加した者のうち、より創業アイデアの精度向上を図る者等に対し、連合会および専門家が伴走しながら支援する。			
事業の目標③		10 者				
	支援対象企業の変化	指標	専門家等からの助言を踏まえ、ビジネスアイデアの整理・見直し・具体化が進んだ者の数	数値目標	10	者
	その他目標値	目標値の内容⇒				
事業の目標④	支援対象企業数の合計	設定根拠及び募集方法⇒	上記①に参加した各ブロックの参加者、および②に参加した者を集めて、地域の特性を交えた交流を通じて創業計画書ベースのアイデア発表会を行い、専門家による助言、および参加者も含めた講評を得る。発表者以外の参加者についても、他者の発表を聴講することで新たな視点や気づきを得て、自身の事業アイデアの深化につなげる機会とする。			
		20 者				
	支援対象企業の変化	指標	発表会参加を通じて、ビジネスアイデアの整理・具体化が進んだ参加者の割合	数値目標	70	%
事業の目標⑤	その他目標値	目標値の内容⇒				
	支援対象企業数の合計	設定根拠及び募集方法⇒	③に参加した者のうち、さらに創業に向けて次のステップに進みたい者を対象とする。専門家等からの講評・助言を反映し、事業内容をさらにブラッシュアップした上で創業計画書の作成および創業に向けた次のステップ（ビジネスプランコンテストへのエントリー、商工会が実施する特定創業支援事業への誘導、Webサイト開設などの事業運営の具体化）への展開を支援し、発表者の創業予定地域を所管する商工会と情報共有しながら、伴走支援を実施する。			
事業の目標⑥		7 者				
	支援対象企業の変化	指標	創業計画書の作成、および創業に向けた次のステップへ進んだ者の数	数値目標	7	者
	その他目標値	目標値の内容⇒				

【備考】

※別添で補足する内容があれば添付してください。